

民主党政府が被害を拡大させた 宮崎県の口蹄疫

報道規制まで行いながら何も対策をしなかった民主党の責任を国民は問うべきだ

はじめに

口蹄疫は人体に無害です。(人や車によってウィルスが伝播される可能性はあります)

01 口蹄疫の概要と被害状況

口蹄疫(こうていえき)とは、家畜の伝染病のひとつで、偶蹄類(牛、豚、猪など)などが感染するウイルス性の急性伝染病です。感染力が非常に強く、**感染した家畜は殺処分しなければなりません**。

5月10日の時点で計76,852頭が殺処分対象となり、畜産農家は深刻な被害となっています。

04 地元の口蹄疫への対応状況



【口蹄疫予防の看板】



【トラックの消毒作業】



【石灰による道路の消毒】

05 口蹄疫の非常事態にも関わらず赤松農水相は外遊、外遊後は栃木で議員応援

宮崎県の口蹄疫が発生したのは4月20日で、外遊の10日前でした。それにも関わらず赤松広隆農水相は南米へ外遊に行きました。また、口蹄疫の被害が深刻になっても緊急帰国しませんでした。

そして外遊から帰国後、宮崎に向かわず**栃木の議員応援(富岡よしただ講演会結成大会)**に行っています(右写真)。

その後、やっと宮崎県に行きますが現地視察はせず、県庁で東国原知事と知事室で対応を協議しただけです(しかも、人目を避けるように裏口から県庁に入出しています)。



06 現地に対応している自民党・松下新平に「選挙目当てで発言したいんだろう」と暴言

口蹄疫の対応には自民党の松下新平議員が積極的に動いています。口蹄疫の発生の翌日(4月21日)の「口蹄疫緊急対策会議」に参加し、民主党へ口蹄疫発生に伴う対策についての申し入れを行っています。また、国際問題アナリストの藤井厳喜の現地取材に来たときには現地の案内もしています。

しかし、口蹄疫の発覚の20日後に宮崎県にやってきた赤松広隆農水相は自民党議員の同席に対して「自民党の同席は構わないが、『おれの意見も聴いてくれ』とやり出すと、与党も野党も(発言し合うこと)となる」と遮ったのです。

また、**松下新平議員に対し「選挙目当てで発言したいんだろう」という趣旨の発言もしており**、民主党が何も対応しなかったことを棚上げして他党の議員を批判するという非常識な行為を行っています。

[参考URL] http://mytown.asahi.com/miyazaki/news.php?k_id=46000001005110002

07 赤松農水相、口蹄疫被害『全額補償』と発言するも補償額・財源は不明

5月10日、赤松広隆農水相は会見で牛や豚などの家畜を処分された農家に全額補償を実施する趣旨の発言をしました。しかし、まだ口蹄疫の被害の拡大が予想される状況で『全額補償』というのは信用されていません。

JA宮崎中央会の試算では5月8日までの口蹄疫による被害総額は110億円以上とされています。これ以上の額になるのは確実であり、財源をどうするのかという疑問の声が出ています。

また、被害総額は110億円以上のうち家畜を新たに購入・飼育する再開費用60億円とされ、被害額を補償すれば解決するという問題ではありません。

[参考URL] <http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/170827>

08 埋葬場所の問題

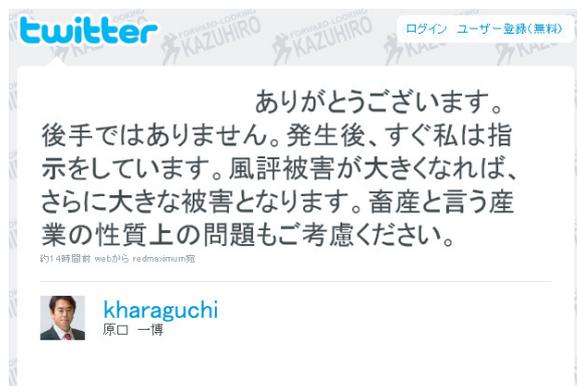
被害が集中する川南(かわみなみ)町では家畜の埋設処分の場所確保が難しくなっています。

国は国有地の提供に前向きな姿勢を示していますが検討段階です。また、**埋葬場所は穴を掘った場所から地下水が出ないことが条件であり(家畜の死骸から地下水を経由して口蹄疫が広がるため)、国有地で条件を満たす場所があるかも定かではありません。**

09 ニュースにならなかったのは報道規制が行われたため

ここまで読んで頂いた方は「なぜ今までテレビで報道されないのだろう?」と思うでしょう。それは**報道規制が行われていたため**です(宮崎県内のメディアや一部の新聞では報道されていました)。

原口一博総務相がTwitterで風評被害を防ぐために報道規制を行ったという趣旨の発言をしています。しかし、報道規制「のみ」が行われ政府が口蹄疫の対策を行わなかったため、国民に口蹄疫の情報が入らないだけの状況をつくってしまいました。



10 マスコミは正確な情報を伝えない

5月11日からテレビでも口蹄疫の報道がされるようになりましたが、残念ながら正確な情報は伝えていません。これは赤松広隆農水相が宮崎へ行った5月10日からの情報を伝えているためです。テレビの報道では以下のことは触れていません。

- 口蹄疫が発覚したのが4月20日であること
- 政府が宮崎県に消毒薬を1箱も配布していないこと
- 自民党が口蹄疫の追加対策を3回申し入れたこと
- 4月28日に自民党の谷垣禎一総裁が現場視察したこと

テレビや新聞はインターネットよりも報道のリアルタイム性がなく、正確性もありません(企業の都合で編集や没になるため)。口蹄疫の問題はインターネット上では早期から非常に問題視され、ニュースサイト・ブログ・SNS・掲示板・Twitterなどで頻りに情報が出回りましたが、マスコミは一切報道していませんでした。この部分で宮崎県の口蹄疫のことを知っている人と知らない人の差が大きく出てしまいました。

今回の宮崎県の口蹄疫の被害拡大は政府の初動動作の悪さが原因です。また、報道規制によって多くの国民が口蹄疫の情報を得ることができなかつたことで政府に抗議できなかつたのも要因の1つです。私たちは情報が「与えられるもの」だと思いがちですが、本当に重要な情報は自分から探さないといけません。

幸い、インターネットの普及や携帯電話の高性能化によって私たちはどこでも情報を得ることができます。テレビや新聞だけに頼らずに新たな情報源を利用してください。